

1. 事業報告並びに事業計画

(1-1) 日本放射線影響学会第59回大会(平成28年)の開催

開催日:平成28年10月26-28日
開催場所:広島市・JMSアステールプラザ
大会長:稲葉俊哉会員

(1-2) 日本放射線影響学会第60回大会(平成29年)の準備状況

- 1-2-1 大会長を明石真言会員とし、会期を10月25日(水)~28日(土)、会場を京葉銀行文化プラザに決定した。大会テーマは「生命を守るもの、攻めるもの、放射線」とし、保健物理学会等、他学会との合同シンポジウム・ワークショップを打診している。量子科学技術研究開発機構の共催が決定。UNSCEAR、ICRP、WHOとの合同シンポジウムを調整中である。(資料1-2)
- 1-2-2 今後、千葉県、千葉市の共催を申請予定。プログラム委員会を組織してプログラムの作成を進める。財団法人の助成金を申請し、協賛企業を集める。また、若手対象の教育企画を計画している。

(1-3) 日本放射線影響学会第61回大会(平成30年)の準備状況

期日:平成30年11月7日(水)~9日(金)
会場:長崎ブリックホール(〒852-8104長崎市茂里町2-38)
大会長:永山雄二会員

(1-4) 日本放射線影響学会第62回大会(平成31年)について

- 1-4-1 次次次期学術集会会長(第62回大会長)公募に1件の応募があり、理事会において、高田穰会員(京都大学放射線生物研究センター)を選考し、社員総会での決定に諮った。

(1-5) 各種学術大会、シンポジウムの共催・後援について

- 1-5-1 平成28年10月7日までに共催・協賛・後援を決定した学術集会等は下記の通り。(H28年3月以降開催分)
- 【共催】日本保健物理学会、主催:(一財)日本保健物理学会、開催日:平成28年6月30日(木)~7月1日(金)、開催場所:弘前市弘前文化センター
 - 【協賛】日本保健物理学会シンポジウム、主催:(一財)日本保健物理学会、開催日:平成28年11月28日(月)、開催場所:東京大学工学部2号館212講義室
 - 【協賛】第25回放射線利用総合シンポジウム、主催:(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会、開催日:平成29年1月23日(月)、開催場所:大阪大学中之島センター
 - 【協賛】2017年度生命科学系学会合同年次大会、主催:日本分子生物学会・日本生化学会、開催日:平成29年12月6日(水)~9日(土)、開催場所:神戸ポートアイランド

(1-6) 各種推薦

- 1-6-1 医療放射線防護連絡協議会理事として明石真言会員を推薦した。
- 1-6-2 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会 委員として井出博会員、秋山秋梅会員を推薦した。
- 1-6-3 公益財団法人放射線影響協会 ICRP 連絡委員として児玉靖司会員を推薦した。
- 1-6-4 公益財団法人放射線影響協会放射線影響研究功績賞及び同奨励賞選考委員として藤堂剛会員を推薦した。

2. 各委員会からの報告

(2-1) 理事長

- 2-1-1 各種委員会の委員の承認(資料2-1)

(2-2) 財務委員会(委員長:高橋副理事長)

- 2-2-1 平成28年度予算については、6月の理事会において一部補正を行ったところ。その後、執行状況を調査し、特段の問題が無いことを随時確認している。
- 2-2-2 前回の社員総会の際に、現在の予算・決算書では会務費の内容が分かりにくいとの指摘があり、高橋副理事長(財務委員長)並びに松本英樹副理事長が事務局に赴き、内容について調査した。

- 2-2-3 上記の調査結果も踏まえ、財務委員会において平成 29 年度収支計画書（案）（資料 2-2）を作成し、理事会の承認を求めている。
- (2-3) 編集委員会（委員長：小松会員、担当理事：松本英樹副理事長）
- 2-3-1 定期および特集号の発刊状況
 - 2-3-2 平成 28 年度寺島賞の受賞者
 - 2-3-3 影響学会編集委員会規程改正
 - 2-3-4 JRR 影響学会編集委員会規程修正案
 - 2-3-5 OUP との契約更新
- (2-4) 広報出版委員会（委員長：松本義久常任理事、論文紹介企画小委員会：小林常任理事）
- 2-4-1 広報出版委員として、平成 28 年度第 3 回理事会において、下記の通り承認された：松本 義久（東京工業大学・委員長）、富田 雅典（電力中央研究所・副委員長）、小林 純也（京都大学）、鈴木 正敏（東北大学）、宇佐美 徳子（高エネルギー加速器研究機構）、保田 浩志（広島大学）
 - 2-4-2 第 1 回広報出版委員会（メール審議、9/27-28）を開催した。この会議で論文紹介企画小委員会の委員について審議し、これを承認した。
 - 2-4-3 学会通信を随時配信した。6 月 28 日の定時社員総会以降、56 件の配信を行った（10 月 18 日現在）。
 - 2-4-4 メーリングリストの更新を随時行った。10 月 18 日現在、966 名が登録されている。
 - 2-4-5 学会ホームページの更新、追加作業を行った（事務局に依頼）。
 - 2-4-6 本委員会および論文紹介企画小委員会を中心に、学会内外に向けた情報発信強化に取り組む。
 - 2-4-7 現在のホームページの問題点を抽出し、改善に取り組む。
 - 2-4-8 放射線影響学会 HP における最新論文紹介活動の活性化を図るために、第 2 回理事会において資料 2-4 の通りに放射線影響学会細則における第 5 条(4)を改正し、広報出版委員会の下に常設の論文紹介企画小委員会を設置した。小委員会委員長には鈴木正敏（東北大学）、副委員長は担当理事の小林がつとめ、資料 2-4 の通りの委員メンバーで小委員会が発足することを広報出版委員会で承認された（9 月 28 日承認）。現在、小委員会規則（案）の作成を小委員会で議論するとともに、輪番制で月ごとの担当を決め、最新論文紹介原稿の掲載を随時進めていくことにしている。なお、小委員会規則（案）は作成後、広報出版委員会での審議・承認を受け、HP の最新論文紹介ページ上に掲載することも検討している。
- (2-5) 放射線災害対応委員会（委員長：松本英樹副理事長）
- 2-5-1 「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」の発足（資料 2-5-1）
 - 2-5-2 一般市民の方からのお問い合わせ（資料 2-5-2）
- (2-6) 企画委員会（委員長：藤堂理事長）
- 2-6-1 放射線取扱主任者 1 種講習会を仙台（7 月 30、31 日）及び大阪（8 月 5、6 日）で開催した（資料 2-6）。
- (2-7) グローバル化担当委員会（委員長：田代理事）
- 2-7-1 平成 29 年度の社員総会で、日本保健物理学会、日本放射線腫瘍学会、日本医学放射線学会、日本医学物理学会など国内関連学会から数名の講師を招聘しキャッチアップセミナーを開催し、これらの学会との連携を促進する予定である。
- (2-8) キャリアパス・男女共同参画委員会（委員長：富田理事）
- 2-8-1 前期に引き続き本委員会が設置されることとなり、小原麻希会員、戒田篤志会員、笹谷めぐみ会員、藤井健太郎会員、藤通有希会員、細谷紀子会員、山内基弘会員が委員に就任した。
 - 2-8-2 第 59 回大会 3 日目（2016/10/28 12:30-13:30）に委員会企画セミナーを開催する。講師として、森永康子先生（広島大学副理事（男女共同参画担当）、男女共同参画推進室長）を招聘し、「女性研究者支援－広島大学の取り組み－」についてご講演いただく予定。
 - 2-8-3 男女共同参画学協会連絡会の第 14 回シンポジウムに参加し、国内外の状況や取り組みについて情報を入手した。同連絡会の第 4 回大規模アンケート（第 4 回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査、回答受付期間：2016/10/8～21）への参加を呼びかけた。アンケート結果を分析し、今後影響学会として取り組むべき活動プランを提言する予定。
 - 2-8-4 第 1 回メール審議を開催し、男女共同参画学協会連絡会のオブザーバー学協会への加盟を理事長に

提案した。第5回理事会で審議予定。

(2-9) 規約委員会（委員長：小林常任理事）

2-9-1 選挙規程・学会規程・会員規程の改正の検討

社員総会第1号議案にある通り、選挙規程における監事選挙に関わる部分の改正を委員会で議論し、改正案の作成を行った。選挙規程については、他の部分にも齟齬、適切でない文言があることから、学会規程、会員規程と合わせて、来春の定時社員総会での承認を目標に改正案を規約委員会で策定する予定である。必要な場合には定款の見直し（齟齬が生じる部分）を検討する可能性も視野に入れている。

2-9-2 各委員会に関する規程の整備

賞等選考委員会、倫理委員会において、現在ある規程の見直しや新たな規程の制定について担当理事等から相談があったことから、これらの規程の整備を担当理事、各委員長と協力して行う予定である。また、これら規程（編集委員会規程も）の制定の根拠が学会規程等に現在記載されていないことから、必要な条文の追加を検討する。なお、倫理委員会の規程制定には委員会の常置化が必要なことからそれに必要な学会規程の改正も検討する。他の常置委員会でも規程の必要性が求められた場合には制定に協力する。

2-9-3 事業年度の変更の検討

現在の4月から始まる事業年度を、秋開始に変更するかどうかの検討は、それぞれに有利、不利な点があり、まずはその洗い出しを行ったうえで、規約委員会での議論を開始する予定である。規約委員会では上記1, 2の事項を早急に進める必要があることから、事業年度変更に関する有利、不利な点の洗い出し作業は規約委員会の下にワーキンググループ(WG)を設置して行ってもらうことを計画している。なお、現在広報出版委員会以外の委員会ではWG、小委員会の設置の根拠について規程・細則に記載が無いことから、必要な学会規程（もしくは細則）の改正を早急に行う予定である。

(2-10) 賞等選考委員会（委員長：児玉副理事長）

2-10-1 平成28年度の学会賞1名、奨励賞3名、功績賞1名、岩崎民子賞2名の受賞候補者を推薦した（資料2-10）。

2-10-2 平成28年度学生旅費援助者13名を決定した。援助総額は、484,172円となる。

2-10-3 第59回大会の優秀演題発表賞選考委員会（稲葉俊哉大会長（委員長）、児玉靖司賞等選考委員長、小笹晃太郎学術委員）を組織した。

(2-11) 学術委員会（委員長：児玉副理事長）

2-11-1 2017年度生命科学系学会合同年次大会（ConBio2017）への協賛を決定した。さらに、プログラム委員2名（高田穰会員、小林純也会員）を推薦し、両会員にはシンポジウム/ワークショップのオーガナイザーとして本学会からの企画の提案を依頼した。（資料2-11）

(2-12) 倫理委員会（委員長：田内評議員、担当理事：藤堂理事長）

2-12-1 理事の利益相反に関する申告書ならびに確認手順、開示請求への対応方針について決定し、理事会に報告した（資料2-12）。今後は大会発表に関するCOI開示指針等についても検討を行う予定である。

(2-13) 教育研修委員会（委員長：舟山理事）

(2-14) 60回記念事業組織委員会（委員長：宮川評議員、担当理事：藤堂理事長）

2-14-1 記念文集は、寄稿が終了し、現在編集を行っている。

2-14-2 記念式典は、第60回大会事務局と連携して企画案を検討している。

(2-15) 学会事務局

2-15-1 会員動向：平成28年10月07日現在（括弧内は平成28年6月22日現在）

旧名簿：学会員総数884（867）名

正会員681（666）名、学生会員149（150）名、海外会員15（14）名、名誉会員35（36）名、終身会員4（1）名。

新名簿（「マイページ」登録者）：学会員総数742（718）名

正会員601（587）名、学生会員118（111）名、海外会員4（4）名、名誉会員16（16）名、終身会員3（0）名。

2-15-2 JRR誌発送状況：正会員149名、学生会員23名、賛助会員34団体、合計206

以上